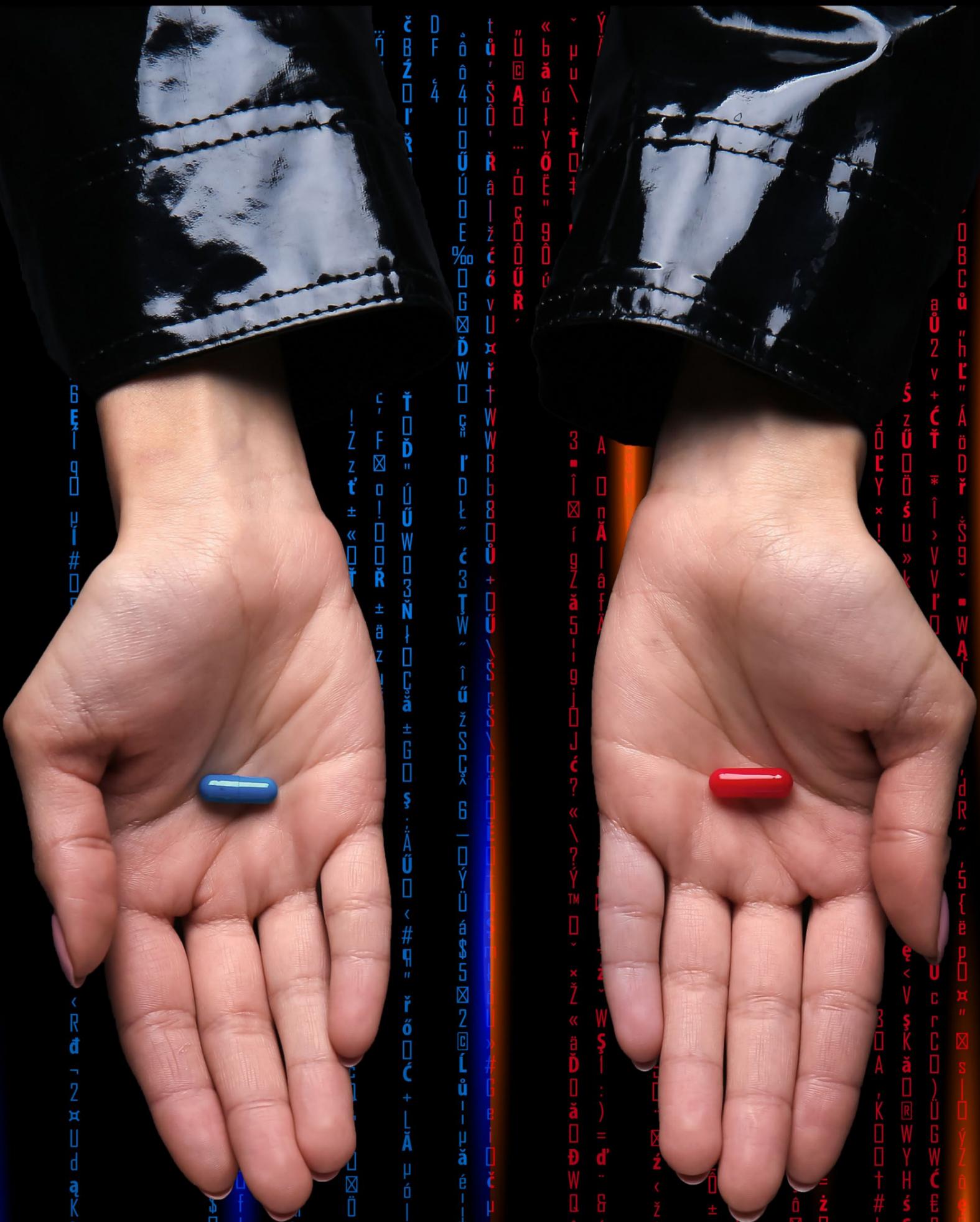


システムが生きる。未来を追うか。

人力に頼る現状に甘んじるか。



情報システムの在り方

を私たちは提言します。

第1 小委員会

企業における知財ワークフローシステム 導入とシステム連携についての調査・研究

- ✓ 発明部門や特許事務所間、社内外の他システム連携等、課題も多様化。
- ✓ テレワーク時代での知財ワークフローシステムのメリットや課題に関して改めて調査研究を行い、会員企業へ情報提供をする。

知財、発明部門、事務所等 ユーザ視点の課題

※件数は一番多い

電子承認等、テレワークにも大貢献。万人受けはなくユーザからの要求は永遠に変わらない。適切な優先順位を。

#ワークフロー

#画面



知財管理者の課題

※注力推奨領域

導入時の検討・調整不足・安易な運用対処(無期限)は、半永久的ランニングコストに。他システム連携など、他部署協力要(比較的難易度の高いものが多い)。

#製品仕様

#他システム連携

#案件セキュリティ



システム部門の課題

各社のシステム部門に知見があると想定。知財として抱える課題は比較的少ない。

#サーバ

#ネットワーク



第2 小委員会

案件評価のための知財管理システムの データ管理・活用に関する調査・研究

- ✓ 発明の創出から権利満了までの一連の知財業務において行った評価情報を蓄積し、次の業務につながる評価サイクルを機能させたい。
- ✓ 評価サイクルを構築するため、特許案件を評価するタイミングと評価方法、および、知財管理システムにおける評価情報の管理方法について研究している。
- ✓ 複数件をまとめて評価する場合の課題や、外部の評価ツールの使い方についても模索している。

評価サイクル



各種判断以外に評価データを活用しているか？

